

エコへるす

〇〇●● 長野県環境保全研究所ニュース 平成25年(2013年)9月20日発行 ●●〇〇
 安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415
 飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929
 http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/index.htm Email: kanken@pref.nagano.lg.jp

特集 『廃棄物』

廃棄物最終処分場の水質等実態調査を行っています

廃棄物は日常の様々なところから発生しますが、焼却灰や不燃物等のリサイクルが困難なものは、廃棄物の種類や有害性によって、決められた構造の最終処分場*に埋め立てられています。

県内には平成23年度末で一般廃棄物*最終処分場が45施設、産業廃棄物*最終処分場が33施設設置されています(平成24年版長野県環境白書より)。環境保全研究所では一般廃棄物最終処分場については平成3年度から、産業廃棄物最終処分場については昭和63年度から、年間約40施設を対象に、最終処分場の浸出水、浸透水、放流水(処理水)、埋立地周辺の地下水等、1施設について1~5試料の水質を調査してきました。過去5年間の調査内容は表のとおりです。現在埋立中の最終処分場だけでなく、周辺への影響や埋立地の安定化(埋立物の分解が進んで汚水やガスの発生が少なくなること)を調べるため、既に埋立が終了している最終処分場も調査対象としています。

表 過去5年間の調査内容

年度	一般廃棄物 最終処分場	産業廃棄物 最終処分場	測定 試料数
H20	20	20	110
H21	20	17	99
H22	17	19	103
H23	17	20	105
H24	17	23	112

調査項目はpH、BOD(生物化学的酸素要求量)、COD(化学的酸素要求量)、全窒素、全りん、シアン、水銀・カドミウム・鉛等の有害金属類、ジクロロメタン等の揮発性有機化合物、農薬、大腸菌群数等基準値のある項目と、電気伝導率、塩化物イオン等基準値のない項目を合わせて約50項目です。後者は最終処分場の維持管理や埋立地の安定化の状態を推測するために重要な項目として測定しています。

また、廃石膏ボードが埋め立てられている最終処分場では、条件によっては硫化水素が発生する場合があります。現場で作業する際に危険を伴う可能性があるため、浸出水に含まれる硫化水素や埋立地内のガス抜き管から放出される硫化水素の簡易測定も行っています。

最終処分場は設置されてから廃止まで数十年かかることもあります。この間最終処分場は安全に維持管理されなくてはなりません。そのために調査結果は最終処分場の監視指導の基礎資料として活用され、基準を超えた施設については、地方事務所環境課から原因の究明や対策の実施等の指導が行われています。

(下寄かえで kanken-junkan@pref.nagano.lg.jp)

* p4 「廃棄物関係の用語解説」参照

目次	特集「廃棄物」	最近の話題「第6期諏訪湖水质保全計画のあらまし」	5
	・廃棄物最終処分場の水質等実態調査を行っています	最近の話題「風疹の流行に注意しましょう」	6
	・平成23年度の長野県の一般廃棄物の排出及び処理状況	トピックス「長野県絶滅種のコケリンドウが再発見されました！」	7
	・トピックス「産業廃棄物の溶出試験」	報告「施設公開」・募集「信州・温暖化ウオッチャーズ」	8
	・最終処分場放流水等の放射線物質検査を実施しています・用語解説		

